

株式会社 レイテック

〒101-0025 東京都千代田区
神田佐久間町 1-9 第7東ビル7階
TEL: 03-5577-5898
FAX: 03-5577-5899



RAYTEC Co., LTD.

Dai-7Azuma Bld. 7F 1-9 Kanda-Sakuma-Cho
Chiyoda-ku, Tokyo, 101-0025 Japan
TEL: 81-5-577-5898
FAX: 81-5-577-5899

E-mail: info@raytec.co.jp URL: http://www.raytec.co.jp/

内外国特許調査・解析／特許・技術情報に関する各種コンサルティング／各種情報処理
Intellectual Property & Assistance of Technical Development Related Services

平成 26 年 4 月 1 日

〇〇社
××部
△△様

調査担当：1G レイテック太郎

無効資料調査報告書

【調査対象】

貴社整理番号		調査の名称 (発明の名称)	誘電体セラミック、...
弊社整理番号	AAA100401		
公報番号	特開平 11-〇〇〇〇〇〇		
調査請求項	1~15		

調査目的	無効資料調査
調査方法	マニュアル調査
使用DB	日立 SRPARTNER/LIGHT
調査範囲	日本の公開系特許・実用新案 検索式 1. 更新 FI = C04B35/46+H01B3/12, 303+H01G4/12, 358 2. 公報発行日 = ~19991102 検索論理式： 1*2 = 4696 件
調査結果	<p>1. 本出願の特許性を否定することができるような先行資料が見つかりました。</p> <p>1) 抽出資料（技術対比表をご参照ください）</p> <p>①特開平 05-〇〇〇〇〇〇 「非還元性・・・」 公報発効日：1993 年〇月〇日、評価：Y</p> <p>②特開昭 59-〇〇〇〇〇〇 「積層セラミック・・・」 (公報発効日：1984 年〇月〇日、評価：A</p> <p>③特開平 06-〇〇〇〇〇〇 「誘電体磁器・・・」 (公報発効日：1994 年〇月〇日、評価：Y</p> <p>④特開平 05-〇〇〇〇〇〇 「積層型セラミック・・・」 公報発効日：1993 年〇月〇日、評価：Y</p> <p>⑤特開平 04-〇〇〇〇〇〇 「誘電体磁器・・・」 公報発効日：1992 年〇月〇日、評価：Y</p> <p>2) 参考資料</p> <p>①特開平 04-〇〇〇〇〇〇 「誘電体磁器・・・」</p> <p>②特開平 08-〇〇〇〇〇〇 「粒界絶縁型・・・」</p> <p>③特開平 09-〇〇〇〇〇〇 「非還元性誘電体・・・」</p>

無効調査報告書サンプル

コメント	<p>1. 本出願は、抽出資料を組み合わせることにより、主要な構成要件を完成することが可能と思われます。</p> <p>しかし、</p> <p>A) 本出願が、出発物質を「一般式 $[Ba_{1-x}Ca_xO]TiO_2\cdots$」で表現している点、および、</p> <p>B) 【0000】「添加成分の拡散によるコアシェル構造をもたない材料であり、…」と記載されている点については、抽出文献に記載がありませんので、考慮が必要かと思えます。</p> <p>(BaCaO) TiO_2については、参考資料①特開平 04-0000000に $BaTiO_3+CaTiO_3$と表現されています。更に、本出願明細書【0000】に「出発原料として、高純度の TiO_2、$BaCO_3$、および $CaCO_3$を準備して、……」と記載されていることから、この物質は通常の製造方法により合成されるものと思えます。</p> <p>参考資料②特開平 08-0000000の【0000】、及び、【従来技術】には、「… ($Ba_{1-x}Ca_x)TiO_3$等の半導体磁器が知られている。…」と記載され、「結晶粒 a とこれら結晶粒 a 間の粒界層 b とで構成されており、……」の記載と【図〇】から、コアシェル構造を有していません。【図〇】はコアシェル構造のように思えます。更に、参考資料③特開平 09-0000000にコアシェル構造でない構造について記載が有ります。【表〇】試料番号〇は $BaTiO_3+CaTiO_3$が、本出願に近い技術です。抽出資料②特開平 06-0000000 (【図 0】)には、コアシェル焼結体の中に、シェル層 1 のみで構成された焼結体が有ります。</p> <p>2. 本出願は、抽出資料により、請求項 1 は、減縮するか、削除されるように思われます。</p>
------	---

添付資料

- (1) 抽出資料 ----- 5 件
- (2) 参考資料 ----- 3 件
- (3) 構成要素 (技術) 対比表、もしくは、抽出資料リスト ----- 1 部

以上

無効調査報告書サンプル

特開平 11-000000 「誘電体セラミック、…」に関する構成要素（技術）対比表

公報番号	本件	抽出資料①	抽出資料②	抽出資料③
	特開平 11-000000	特開平 05-000000	特開平 06-000000	特開平 05-000000
評価		Y	Y	Y
発明の名称	誘電体セラミック…	非還元性…	誘電体磁器…	積層型セラミック…
公開日	(優先日) 1999年11月XX日	1993年8月XX日	1994年1月XX日	1993年1月XX日
請求項1	金属元素として、Ba、Ca、Ti、MgおよびMnを含有する複合酸化物からなる、誘電体セラミック。	○ Ba、Ca、Mg、Ti、Mn…非還元性誘電体磁器組成物【請求項1】、積層セラミックコンデンサなどに用いられる【0001】	△ チタン酸バリウム、酸化マグネシウム、酸化マンガン	○ BaTiO ₃ …、MgO、MnO、CaO…積層型セラミックチップコンデンサ【請求項1】
請求項2	一般式： $\{Ba_{1-x}Ca_xO\}_mTiO_2 + \alpha MgO + \beta MnO$ で表される、誘電体セラミック。ただし、 α は、 $a \leq \alpha \leq b$ 、(=MgO) β は、 $a \leq \beta \leq b$ (=MnO)、 m は $a < m \leq b$ (=Ba+Ca/Ti)、 x は $a \leq x \leq b$ である。(=CaO)	○ 【請求項1】その主成分がBa、Sr、Ca、Mg、Ti、ZrおよびNbの各酸化物からなり、次の一般式 $\{Ba_{1-x-y-z}Sr_xCa_yMg_z\}_m(Ti_{1-o-p}Zr_oNb_p)O_{2+p/2}$ で表され、 x 、 y 、 z 、 o 、 p および m が、 $a \leq x \leq b$ (Sr)、 $a \leq y \leq b$ (Ca)、 $a \leq z \leq b$ (Mg)、 $0 < o \leq b$ (Zr)、 $a < p \leq b$ (Nb)…、【表1】	x	△ 【請求項1】誘電体層と内部電極層とが交互に積層された構成のコンデンサチップ体を有する積層型セラミックチップコンデンサであって、…、【表1】
請求項3	さらに、焼結助剤を含有し、前記焼結助剤は、当該誘電体セラミックのための組成物c重量部に対して、a~b重量部含有する、請求項1または2に記載の誘電体セラミック。	○前記主成分を100重量部として、BaO-SrO-Li ₂ O-SiO ₂ を主成分とする酸化物ガラスをa重量部~b重量部含む、【請求項1】、【表1】		○副成分として、ガラス状の(BaxCa1-y0)y·SiO ₂ …前記BaTiO ₃ 、MgO、MnO及びCoOの合計に対しa~b重量%含む【請求項1】
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

無効調査報告書サンプル

特開平 11-000000 「誘電体セラミック、…」に関する無効資料調査抽出資料リスト

番号	評価	公報番号	公報発行日	発明等の名称	記載箇所	該当請求項	コメント
1	Y	特開平 05-000000 ○	1993/8/XX	非還元性…	【請求項 1】	1~4	本出願の一般式 $\{Ba_{1-x}Ca_xO\}_mTiO_2$ と、本抽出資料の一般式 $\{(Ba_{1-x-y-z}Sr_xCa_yMg_z)O\}_m(Ti_{1-o-p}Zr_oNb_p)O_{2+p/2}$ には違いがあります。
2	Y	特開平 06-000000 ○	1994/1/XX	誘電体磁器…	【表 50】【表 57】	12~15	チタン酸バリウムの粒子径に関し記載があります。
3	Y	特開平 05-000000 ○	1993/1/XX	積層型セラミック…	【0017】～【0057】、 【図 1】	1~10	製造方法に関連の深い請求項 5～請求項 10 について詳しく記載されています。
4	A	特開昭 59-000000 ○	1984/2/XX	積層セラミック…			
5	A	特開平 04-000000 ○	1992/11/XX	積層セラミック…			
6	A	特開平 04-000000 ○	1992/9/XX	誘電体磁器…			
7	A	特開平 08-000000 ○	1996/3/XX	粒界絶縁型…			
8	A	特開平 09-000000 ○	1997/9/XX	非還元性…			
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮